



「四国DE&I宣言企業リーグ」に参加しました

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、このたび、四国経済連合会が新たに設立した「四国DE&I宣言企業リーグ」（以下「本リーグ」）に参加しましたのでお知らせします。

本リーグは、「人口減少・少子高齢化が進む中でも、多様な人たちが生きがいや働きがいを感じながら、豊かに生き活きと暮らせる地域、すなわち『持続可能な四国』を実現する」という理念のもと2026年6月9日（火）に設立されたものです。

当行では、多様な人材や考え方の受け入れは組織を強くし、社会を大きく変えるものと捉え、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DE&I）に積極的に取り組んでおり、本リーグの設立趣旨に深く賛同し参加しました。一人ひとりが相互の自主性・多様性を尊重し合うことで、すべての役職員がやりがいを持って意欲的に仕事に取り組むことができるよう、職員のウェルビーイングの実現をめざしてまいります。

当行は、本リーグへの参加にあたり、以下の取組みを宣言しております。

<当行のDE&Iへの取組み>

- ①女性役席者比率 30%以上を維持します。（現状 34.5%）
- ②男性の育児目的休業及び休暇の取得率 80%以上を維持します。（現状 100%）
- ③お互いを尊重する職場風土の醸成に向け、年齢・性別・役職を問わず「〇〇さん」（「〇〇部長」など役職名も可）と呼ぶ取組みを浸透させます。

①②の取組みは、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」における一般事業主行動計画の目標に掲げ、「女性のキャリア形成支援の拡充」「職員の多様な働き方の推進」などに取り組んでまいりました。

③の取組みは、職員のウェルビーイング向上を目的とした取組みの一環として、行内における呼称ルールを統一し、新たに2026年6月1日（月）より運用を開始したものです。呼称は、相手への敬意や心理的距離感に無意識に影響を与えません。職場におけるDE&Iを推進し、誰もが活躍できる場の創出をめざすため、年齢・性別・役職を問わず、互いを「〇〇さん」（「〇〇部長」など役職名も可）と呼ぶことをルールとして定め、「相手を一人の人として尊重する」意識と文化を行内で育ててまいります。

当行は、2028年11月に創業150周年という大きな節目を迎えるにあたり、「人を大切にする銀行」としての文化を醸成するため、今後もDE&Iに資するさまざまな施策を推進してまいります。